

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	利根上流森林計画区 (群馬県)		事業実施主体	関東森林管理局 利根沼田森林管理署												
完了後経過年数	5年		管理主体	関東森林管理局 利根沼田森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、群馬県の北部に位置する、沼田市を含む1市1町3村に所在する利根上流森林計画区97千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区内は、ほぼ中央に利根川が南流し、東部の片品川、西部の赤谷川がそれぞれ沼田市で合流している。これらの水系では、多数のダム群が建設されており、集水域に位置する国有林は、首都圏の水がめとして重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区の人工林面積は28千haで、森林面積の32%を占め、スギ及びヒノキについては全般的に良好、カラマツ及びアカマツは全般的に中庸である。北面の急傾斜地、多雪地帯及び標高の比較的高い林地では生育が劣り、広葉樹の侵入が見られるが、森林の整備に当たっては水源涵養機能の向上等に配慮し、広葉樹を活かしながら育成することが求められている。</p> <p>国有林は、水源の涵養、山地災害の防止、林産物の供給機能等の発揮を通じて国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全機能の発揮、地球温暖化防止や生物多様性の保全等、森林の持つ多面的機能への期待が高まっている。</p> <p>本事業においては、これらの要請に応えるとともに、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、森林の重視すべき機能の区分に応じ、必要な更新、間伐等の森林整備を実施するとともに、森林施業の効率的・効果的な実施に必要な路網の整備に取り組んだものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>123ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,679ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.0km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>17.0km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,032,801千円</p>				森林整備	更新面積	123ha		保育面積	3,679ha	路網整備	開設延長	1.0km		改良延長	17.0km
森林整備	更新面積	123ha														
	保育面積	3,679ha														
路網整備	開設延長	1.0km														
	改良延長	17.0km														
① 費用対効果分析の算定基礎となっ	<p>費用対効果分析をより適切に行うため、物価変動の影響を除いた上で現在価値に換算して費用及び便益を算定する等、費用対効果分析値の算定方法の見直しを行い、平成28年度の評価から適用している。</p> <p>平成28年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>12,021,091千円</td> <td>(事業採択時：7,925,449千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>3,212,996千円</td> <td>(事業採択時：2,532,226千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>3.74</td> <td>(事業採択時：3.13)</td> </tr> </table>				総便益(B)	12,021,091千円	(事業採択時：7,925,449千円)	総費用(C)	3,212,996千円	(事業採択時：2,532,226千円)	分析結果(B/C)	3.74	(事業採択時：3.13)			
総便益(B)	12,021,091千円	(事業採択時：7,925,449千円)														
総費用(C)	3,212,996千円	(事業採択時：2,532,226千円)														
分析結果(B/C)	3.74	(事業採択時：3.13)														

<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>林道の開設及び改良により基盤施設が適切に整備されたことで、高性能林業機械の導入が可能となり、作業効率の向上や事業コストの縮減、森林整備実施地区までの時間短縮、労働安全の確保にも大きく貢献している。</p> <p>例として、木材生産量については事業完了後の5年間で約30%の増となっている。</p> <p>また、利用期に達した林分において、主伐・再造林を実施することで森林の若返りを行い、多面的機能の維持増進が図られ、伐採した木材については可能な限り搬出を行い、原木の安定供給に努め地域林業の振興に貢献している。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>整備された路網は、利根沼田森林管理署において良好に維持管理されている。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により、若い林分の健全な成長と林分密度の適正化が促され、森林の持つ水源涵養機能等が発揮され、良好な森林の形成が図られつつある。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>戦後造成された人工林を中心に本格的な利用期を迎えており、豊富な森林資源を循環利用し、「林業の成長産業化」を実現することが重要な課題となっている。</p> <p>また、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの削減目標を達成するため、森林吸収量を確保することが必要であり、資源の適切な利用を進めつつ、必要な間伐や主伐後の再造林が求められている。</p> <p>国有林から供給される素材の割合も高く、木材の安定供給のための施設整備（路網整備）及び持続可能な森林経営という点において、本評価期間に実施した森林整備は必要であったと考える。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p> <p>地元の意見：</p>	<p>森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、引き続き森林整備を実行するとともに、事業の実行に当たり、作業効率の向上とコスト縮減を図る必要がある。また、森林の若返りのための主伐・再造林に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>ツキノワグマやニホンジカによる食害、多量の積雪による根曲がり等の影響により、良質な木材の生産が困難な人工林については、針広混交林化や広葉樹林化への誘導を進めていくことも必要と考える。</p> <p>また、本地区においては、獣害被害対策が喫緊の課題であり、効果的で安価な対策法の検討や検証を行い、関係者が協力して対策を進めつつ、情報共有を図っていくことが求められる。</p> <p>これらの取組については、国有林が先頭に立ち、民有林に波及させていくことが重要であり、利根沼田森林管理署がリーダーシップを発揮し、県、市町村、猟友会と連携して捕獲対策にも取り組んでいるところである。</p> <p>（群馬県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林が適正に整備されたことにより、森林が有する多様な公益的機能の増進が図られていると認識している。 引き続き適正な森林整備を推進していただきたい。 また、捕獲も含めたニホンジカ等の獣害被害対策や森林施業の「低コスト化」等について、民有林と国有林の連携強化をお願いするとともに、本県の木材の安定供給体制を確立するため資源の循環利用の計画的な推進を図っていただきたい。 <p>（沼田市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備により森林の多面的な機能の維持増進が図られたと認識している。

	<p>また、本市についても次年度から森林法の改正により鳥獣害防止森林区域を制定し被害防止策を検討することとなっている。</p> <p>については、沼田市の面積の約50%を占める国有林内においても人工林を堅果類の実る天然林へと更新し、動物の住処を作り人里への被害を低減させる等、農作物被害防止も視野に入れた対応策の検討をお願いしたい。</p> <p>(みなかみ町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の持つ、水源の涵養、生物多様性の保全、土砂災害の防止、保健レクリエーションの場の提供などの多面的機能が十分発揮されるよう、引き続き健全な森林機能の維持を図る整備をお願いしたい。 <p>また、里地における農地、里山への獣害の抑制が図られるよう、多様な森林環境づくりを進めていただきたい。</p> <p>(川場村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も森林整備を実施し、林業従事者の確保や年々増加する鳥獣被害の防止等、良好な森林・林業の形成をお願いする。 <p>(片品村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な森林整備と林道整備が実施されたことにより良好な森林形成が図られ、併せて作業効率の向上や労働安全の確保にも大きく貢献していると思われる。また、森林の持つ水源涵養機能等が発揮され、良好な森林形成が構築されつつあるので、今後も引き続き森林整備の見本となるような管理を要望する。 <p>(昭和村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備を行うことにより良好な森林を形成するとともに、年々増加傾向にある鳥獣害の被害の抑止等の効果も見込まれる。今後も適正な森林整備の推進を期待する。
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養等の森林のもつ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も適切な森林整備や路網の維持管理等を実施するとともに、地元から強い要望のある獣害被害対策にも取り組み、地域に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に資する事業であり、路網整備により林産物が安定的に供給され、地域振興にも寄与することから、その必要性が認められた。 ・効率性： 事業実施に当たっては、施業計画に合わせた路網開設を行い、造林事業においては、複数の作業種をまとめて発注し、作業適期に確実に実施できるよう努めており、費用対効果分析の結果からも効率性が認められる。 ・有効性： 森林の有する多面的機能の維持増進や林産物の安定供給が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：群馬県

施行箇所：利根上流森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,586,114	
	流域貯水便益	1,060,618	
	水質浄化便益	2,351,624	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,645,998	
環境保全便益	炭素固定便益	875,635	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	255,985	
	木材利用増進便益	4,469	
	木材生産確保・増進便益	1,240,648	
総 便 益 (B)		12,021,091	
総 費 用 (C)		3,212,996	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,021,091}{3,212,996} = 3.74$		

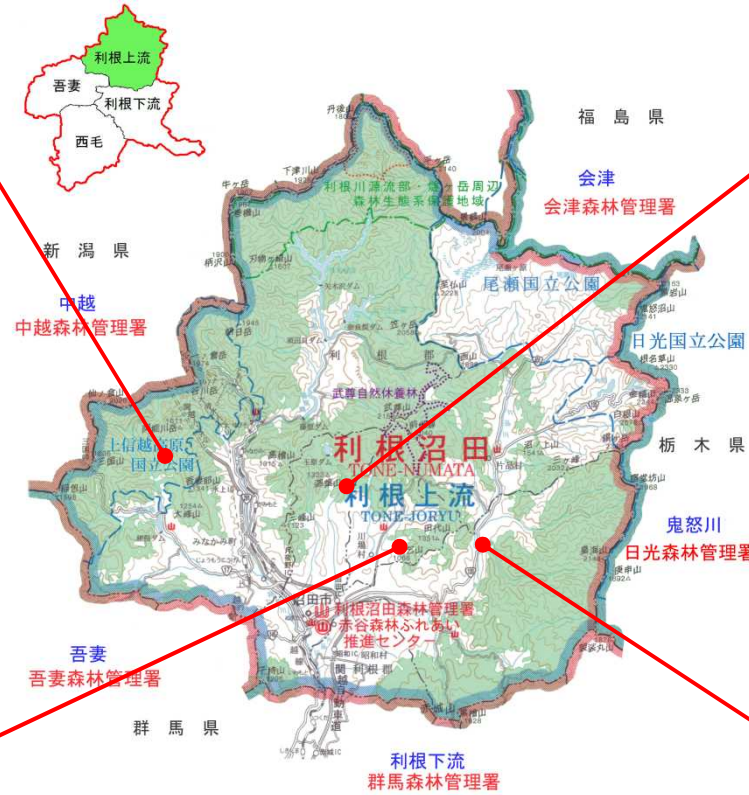
森林環境保全整備事業 利根上流森林計画区(群馬県)事業概要図



間伐 (みなかみ町大源田外2国有林)



地拵・植付 (沼田市箕平国有林)



林業専用道新設
(沼田市迦葉山丙350/1国有林)



下刈 (沼田市小森国有林)